



証券コード：7995

株主の皆さまへ

2023年3月期(第123期)

バルカーレポート

2022年4月1日 ▶▶ 2023年3月31日

Value & Quality

基本理念

Value
&
Quality

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

Value & Quality

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに2023年3月期（第123期）バルカーレポートをお届けします。

当期におきましては、新型コロナウイルス感染症が収束に向かったものの、ロシアによるウクライナへの侵攻が一段の資源高やモノ不足を誘発し、グローバル経済全体に大きな影響を及ぼしました。

このような事業環境下バルカーは、当期から開始した2か年中期経営計画“New Frontier 2023”（NF2023）で掲げた「成長を守る」という視点に立ち、将来を展望した攻守両面の企業改革を推進しつつ業績の拡大にも妥協なく取り組み、過去最高の連結業績を2期連続で更新するという成果をお示しすることができました。

次期、2024年3月期（第124期）は、世界全体の経済回復に向けた動きに影響を与え得る多くの不透明要素が存在しており、バルカーにとり非常に厳しい事業環境になることも想定し得ます。

それに対しバルカーは、中期経営計画NF2023で掲げた基本方針、激変する世界情勢の中、
「THE VALQUA WAY」のもと顧客の信頼に応え、
H (Hard) & S (Service) の両輪で

新たな価値を創造し続ける企業を目指そう

のもと、創業100周年期にあたる2027年3月期に向けて設定した長期経営目標数値『連結売上高800億円、ROE15%以上』の達成をより確かなものにし、そしてその後における持続的な成長の実現を強く意識して諸戦略を着実にかつ迅速に推進してまいります。



2023年6月

シール製品事業

売上高 **40,130** 百万円

売上高
構成比 **64.5** %



事業概況

シール製品事業は、半導体製造装置・デバイス向けなどの先端産業市場の売上が高水準の実績になったことに加え、国内のプラント定期修繕の動向を反映してプラント市場の販売も堅調に推移し、売上高は401億3千万円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は67億4千万円（同22.4%増）となりました。

今後の展開

バルカーグループの主力事業として、先端産業市場における業容を拡大するとともに、機器市場やプラント市場向けを含めてDXによる新たな顧客価値を提供し、収益力の向上を図ってまいります。

機能樹脂製品事業

売上高 **18,932** 百万円

売上高
構成比 **30.5** %

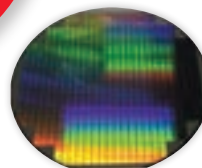


連結売上高
62,178
百万円

シリコンウエハーリサイクル事業他

売上高 **3,116** 百万円

売上高
構成比 **5.0** %



事業概況

機能樹脂製品事業は、高性能化学品用などのプラント市場及び先端産業市場の売上が拡大したことに加え、一般産業機器や輸送用機器向けなどの機器市場向けの販売も堅調に推移し、売上高は189億3千2百万円（前年同期比25.5%増）、セグメント利益は22億3千6百万円（前年同期比62.9%増）となりました。

今後の展開

先端産業市場及びプラント市場向け戦略製品を軸にグローバルシェアの拡大とそれを支えるサプライチェーンの整備を進めるとともに、事業構造改革を推進し、収益力の向上を図ってまいります。

事業概況

シリコンウエハーリサイクル事業他は、主力事業は堅調に推移したものの、新規事業分野を含むH&S事業は開発費用等が先行的に発生し、売上高は31億1千6百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント損失は9千9百万円（前年同期はセグメント利益9千3百万円）となりました。

今後の展開

シリコンウエハーリサイクル事業における品質の向上を通じた収益力の強化に加え、H (Hard) & S (Service) 事業の業績化を速やかに図り、新たな価値創造を具現化してまいります。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期	当期
	自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日	自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日
売上高	53,167	62,178
売上原価	31,667	36,440
売上総利益	21,499	25,737
販売費及び一般管理費	14,526	16,860
営業利益	6,972	8,877
経常利益	7,193	9,029
税金等調整前当期純利益	7,122	10,043
当期純利益	5,037	7,237
親会社株主に帰属する当期純利益	4,841	6,746

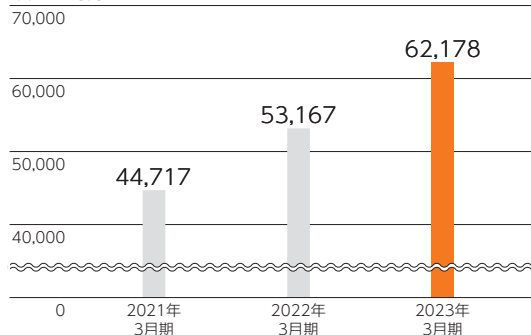
連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末	当期末
	2022年3月31日	2023年3月31日
資産の部		
流動資産	34,935	41,230
固定資産	25,264	27,276
資産合計	60,200	68,507
負債の部		
流動負債	13,336	16,591
固定負債	5,883	6,238
負債合計	19,220	22,830
純資産の部		
株主資本	37,545	41,926
その他の包括利益累計額	2,183	3,267
非支配株主持分	1,250	482
純資産合計	40,979	45,677
負債純資産合計	60,200	68,507

売上高

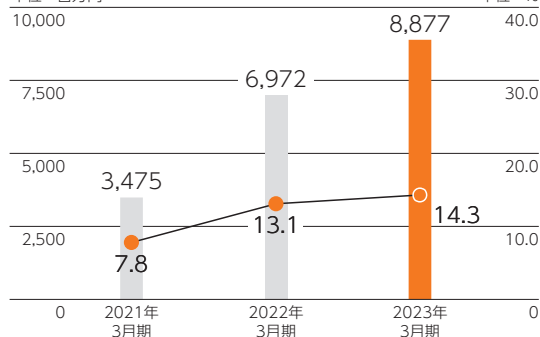
単位：百万円



営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

単位：%



配当

	中間	期末	年間配当
2021年3月期	45.0 円	50.0 円	95.0 円
2022年3月期	50.0 円	75.0 円	125.0 円
2023年3月期	60.0 円	90.0 円	150.0 円

クラウドサービスの 設備点検プラットフォーム「MONiPLAT」をリリース

バルカーは、設備の定期点検や状態監視を一画面で管理できる設備点検プラットフォーム「MONiPLAT (モニプラットフォーム)」をリリースしました。

■モニプラットフォームの開発背景

バルカーは、シールエンジニアリングのパイオニアとして、長年にわたりプラント、半導体、機器市場に対し、ガスや液体などの漏えいを防ぐ製品を提供し、多くの事業者様の安全操業に貢献してまいりました。しかしながら、昨今の変化の激しい社会経済、事業環境のなか、各事業者様がビジネスの持続的成長を目指すうえで、設備点検をより安全に、より効率よく、より総合的に実現したいというニーズはますます増えております。

こうしたニーズの総合的ソリューションを提供する企業を目指すバルカーは、この度、H&S事業のコンセプトを従来の“流体を漏らすな”から“安全を漏らすな”に再定義し、そのコンセプトに即した設備点検プラットフォームであるクラウドサービス「モニプラットフォーム」をリリースしました。

■特徴

1. さまざまな設備点検の一元管理

複雑で煩雑な設備点検をひとつの画面で管理します。それぞれの点検報告や実施スケジュール、状態異常などもアラートで通知することで、担当者の手間をぐんと減らすことができます。

2. スマホアプリで自動化

スマホアプリを使って現場で点検結果や写真をアップロードし、自動で報告書の作成を行い、作業時間の短縮を大幅に実現します。

3. 状態を監視して異常を予測

クラウド上で状態を監視し、異常を予測したらメールでお知らせ。いち早く気が付くことができ、設備の安全管理に貢献します。

サービスイメージ



現場で点検結果入力。
数値点検は自動でグラフ化。



点検のスケジュール・結果の
一元管理が可能。



グラフで設備ステータスが把握
でき、異常の予兆などはメール
でお知らせ。

■今後の展望

モニプラットの特長のひとつとして優れた拡張性があります。現在、モニプラットに連携を予定している各種CBMソリューション（機器等の状態に応じて保全を行う仕組み）の開発を進めています。

「アナログメーターAI検針」は、日常点検や定期点検などで確認するアナログメーターの数値をスマートフォンのカメラで読み取れば、AIが画像解析をして自動記録するシステムです。

このサービスは今夏には提供を開始予定で、属人化しやすく非効率だったアナログメーターの読み取り機能を加え、定期点検をより進化させていきます。

また、さまざまな機器のスマート保全につながる予知保全サービスも精力的に拡充する計画です。

すでにモニプラットのホームページ上でご紹介している、産業機械や建設機械向けの油圧シリンダパッキンの交換時期をお知らせするサービス「VALVESTA（バルベスタ）」や「SealMote（シールモート）」、そしてポンプなどの回転機器の振動から機器の小さな異常を検知し、トラブル発生前にお知らせする「VHERME（ベルム）」の高精度版サービスなどの開発とトライアルが鋭意進行中です。

なお、いずれのサービスも、2021年12月に資本業務提携を開始した株式会社リッジアイとのコラボレーションにより開発を進められております。

今後も、バルカーがこれまでハード製品を通じて培ってきた広い知見や顧客接点とリッジアイの開発能力との融合により、「安全を漏らすな」という新たなコンセプトを具現化する現場起点による新たなソリューションを生み出し、その事業化を推進してまいります。

- Web版：<https://moniplat.com>
（「モニプラット」と検索ください）
- アプリ版：iOS／Androidともに無料提供
- CM：以下番組内で放映中
 - ・「Dの旋律」テレビ東京／BSテレ東
 - ・「ロード to ショーダンス」テレビ東京／BSテレ東



会社の概況 (2023年3月31日現在)

社名	株式会社バルカー (英文表記 VALQUA, LTD.)
創業	1927年1月21日
設立	1932年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	18,688,733株
株主総数	35,452名
従業員数	417名 (連結 1,682名)

役員 (2023年6月21日現在)

取締役

代表取締役会長 CEO	瀧澤 利一
代表取締役社長 COO	本坊 吉博
取締役副社長 CDO	中澤 剛太
取締役専務執行役員 CTO	青木 睦郎
取締役(社外)	関根 近子
取締役(社外)	齊藤 三希子
取締役(社外)	沓澤 浩也

監査役

常勤監査役	高 昭夫
監査役(社外)	八戸 孝彦
監査役(社外)	高橋 秀法

CEO: 最高経営責任者
COO: 最高執行責任者
CDO: 最高デジタル責任者
CTO: 最高技術責任者
CSO: 最高戦略責任者
CQO: 最高品質責任者
CCO: 最高コンプライアンス責任者

執行役員

上席専務執行役員	櫻井 慎也
専務執行役員 CSO兼CQO	椿山 善昭
専務執行役員	瀧澤 利治
常務執行役員	森田 信利
常務執行役員	小川 禎
常務執行役員 CCO	谷田部 麻美子
常務執行役員	植木 聡
常務執行役員	神田 大輔
常務執行役員	伏屋 克俊
執行役員	立田 寛
執行役員	野邊 淳嗣
執行役員	今井 将廣
執行役員	後藤 智子
執行役員	門脇 卓幸
執行役員	村上 良太
執行役員	能勢 正章
執行役員	川上 孝弘

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
及び特別口座
口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法
電子公告
<https://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場



〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL: 03-5434-7370 FAX: 03-5436-0560
URL: <https://www.valqua.co.jp/>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。